

令和6年5月号

鹿浜こども園だより



足立区立鹿浜こども園

第一園舎 Tel.3855-4447

足立区鹿浜 5-25-11

第二園舎 Tel.3897-8515

足立区鹿浜 5-24-4-101

園長 守屋 久美子

広い園庭に鯉のぼりが泳ぐ季節になりました。子どもたちは元気いっぱいそれぞれの遊びを楽しんでいます。

登園すると、自分の好きな三輪車やコンビカーを探しに行ったり、泳いでいる鯉のぼりに触れようと、ベンチの上に乗って手を伸ばしたりしています。花壇や草むらでのダンゴムシ探しは、去年体験済みなのでとても手際が良く、見つける嬉しそうに教えてくれます。

ある日3歳児がダンゴムシ探しをしていると、そばにいた子が一緒に追いかけてっこをしたくて「逃げよーっと」と言い、走り出しました。追いかけてこの誘いと感じたその子は「今はダンゴムシが探したいの～」と大きな声で言い、追いかけてっこには脇目も振らず、ダンゴムシ探しを続けました。周りに左右されることなく、自分のやりたいことに没頭できているのだと感じました。

入園、進級により環境が変化する中で、保護者の皆様には不安もあったことと思います。その中で子どもたちは自分の好きな場所、好きな遊びを見つけ、楽しんでいます。これからも、子どもたちのありのままを受け止め、寄り添う中で一人一人が安心して過ごせるよう環境を整えていきます。そして、子どもたちにとって安心できる居心地の良い『居場所』であり続けられるよう職員一同努めてまいります。

第二園舎 副園長 森 由美

***** お知らせ *****

☆ 駐輪・駐車について

登降園の際の自転車の駐輪ですが、第一園舎は駐輪場、第二園舎は決められたスペースへの駐輪をお願いいたします。また、車をお使いの場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

近隣の方へのご配慮をお願いいたします。

☆ 教材費（4・5歳児）納入について

鹿浜こども園では、子どもたちの発達や興味・関心に応じて教材を用意しております。そのために保護者の皆様から園での現金徴収による教材費の集金を行わせていただきます。尚、集金に際しましては集金日より前に集金袋をお渡しします。集金日には袋に記載されている金額を封入の上、園にお持ちください。

・第二回目の集金日…6月4日（火）

1,000円（6月分）

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから
心豊かに たくましい
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」
を育てる

【行事予定】

5月	
1日（水）	尿検査 1次④⑤
2日（木）	こどもの日 尿検査 1次追加④⑤
7日（火）	避難訓練
8日（水）	眼科検診④⑤13:00
9日（木）	安全指導 耳鼻科検診④⑤13:00
14日（火）	保護者会②16:00
20日（月）	安全指導 身体測定 尿検査 2次④⑤
21日（火）	不審者対応訓練（第一） 尿検査 2次追加④⑤
22日（水）	保護者会①16:00
23日（木）	バス遠足⑤
25日（土）	避難訓練
27日（月）	保育参観・参加④⑤始～6/7

《保護者会》

園の教育方針、教育内容、行事予定をお話しします。また、各学年の子どもたちの様子や学級経営についてお話しします。

《定期健康診断》

- ・検診の結果、治療が必要な方は、プール開始前までに治療を完了させるようお願いいたします。
- ・各科検診の際に園医に相談したいことがある方は、事前に担任までお知らせください。
- ・検診の日に欠席した場合は、園医に行き検診を受けていただくこととなりますので、できる限り休まないようにお願いします。

《バス遠足 5歳児》23日（木）

借り上げバスに乗って「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」に行き、展示物を見たり、公園で遊んだりします。詳細は学年だよりでお知らせします。

※短時間保育児の降園は15:00を予定しています。

※雨天の場合でもお弁当は持たせてください。

知るよすが、すると変わる。

〈ひよこ組〉

子どもたちの笑顔が少しずつ増えてきました。園庭や部屋のあちこちで様々な物を取りながら、自分の好きな物を見付け始めているところです。



ねらい

- 一人一人の甘えや欲求を丁寧に受けとめ、保育者と一緒に好きな場所や好きな遊びを見付けて楽しめるようにしていきます。

〈りす組〉

環境が変わり、新しい部屋に興味津々です。

人形にミルクをあげたり、布団をかけて寝かせたりしてお世話をすることが楽しいようです。大人の真似をしながら人形だけでなく、友達とのやりとりも楽しんでいます。

新しい場所で、過ごす心地良さを感じてくれている子どもたちです。



ねらい

- 保育者と一緒に好きな場所で遊んだり、好きな遊びを楽しんだりしていきます。
- 保育者に様々な思いを受け止めてもらう中で、安心して自分の思いを表せるようになっていきます。

〈うさぎ組〉

新しいクラスでの生活に慣れてきて、お友達を誘って遊ぶようになってきました。アリやダンゴムシを見付けると「いたよ！」と友達を呼んで一緒に観察したり捕まえたりしています。今月も保育者や友達と自然に触れながら、好きな遊びを楽しんでいきたいと思います。



ねらい

- 身近な自然に触れながら、好きな遊びを保育者や友達と楽しめるようにしていきます。

〈ぱんだ・こあら組〉

第一園舎での生活にも少しずつ慣れてきました。園庭ではテントウムシの幼虫やダンゴムシ探しに夢中になり、草花を使った色水遊びには不思議さを感じながら、気の合う友達と一緒に楽しんでいます。

今月も友達と一緒に遊びながら、やってみたい気持ちを引き出していきたいと思います。



ダンゴムシいた？



きれいな色になったよ！

ねらい

- 自分の好きな遊びを見付けて、気の合う友達と一緒に遊べるようにしていきます。
- 生活の流れが少しずつわかり、身の回りのことを自分でできるようにしていきます。

〈ぞう・きりん組〉

年長組になる期待を膨らませて進級した子どもたちは、意欲的に当番や手伝いをしたり、年下の友達に優しく接したり張り切って生活しています。

今月もバス遠足やサツマイモ・稲の苗植えなど楽しいことがたくさんです。子どもたちの「やりたい！」気持ちを大切にしながら、過ごしていきます。



みんなであげよう！



きれいに咲いたね！

ねらい

- 自分なりに試行錯誤を繰り返し、友達とイメージや考えを出し合い、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じられるようになっていきます。
- 苗植えや飼育物の世話、遠足などを通して身近な自然に興味や関心をもてるようになっていきます。